



揺れやすさマップ

揺れやすさマップは、最も被害が大きいとされる糸魚川-静岡構造線断層帯(南側)による地震が起きた場合を想定して、震度予測結果から作成したものです。

震度7

揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。

屋内の状況：固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばされることもある。

屋外の状況：壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

木造建物：耐震性が高い建物でも、壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。



震度6強

立っていることができず、はわないと動くことができない。

屋内の状況：固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。

屋外の状況：壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。

木造建物：耐震性が低い建物では、壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。傾くものや、倒れるものが増える。耐震性が高い建物でも、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。



震度6弱

立っていることが困難になる。

屋内の状況：固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。

屋外の状況：壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

木造建物：耐震性が低い建物では、壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。耐震性が高い建物でも、壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。



震度5強

大半の人が、物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。

屋内の状況：棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。

屋外の状況：固定していない家具が倒れることがある。窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。

木造建物：耐震性が低い建物では、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。



震度5弱

大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。

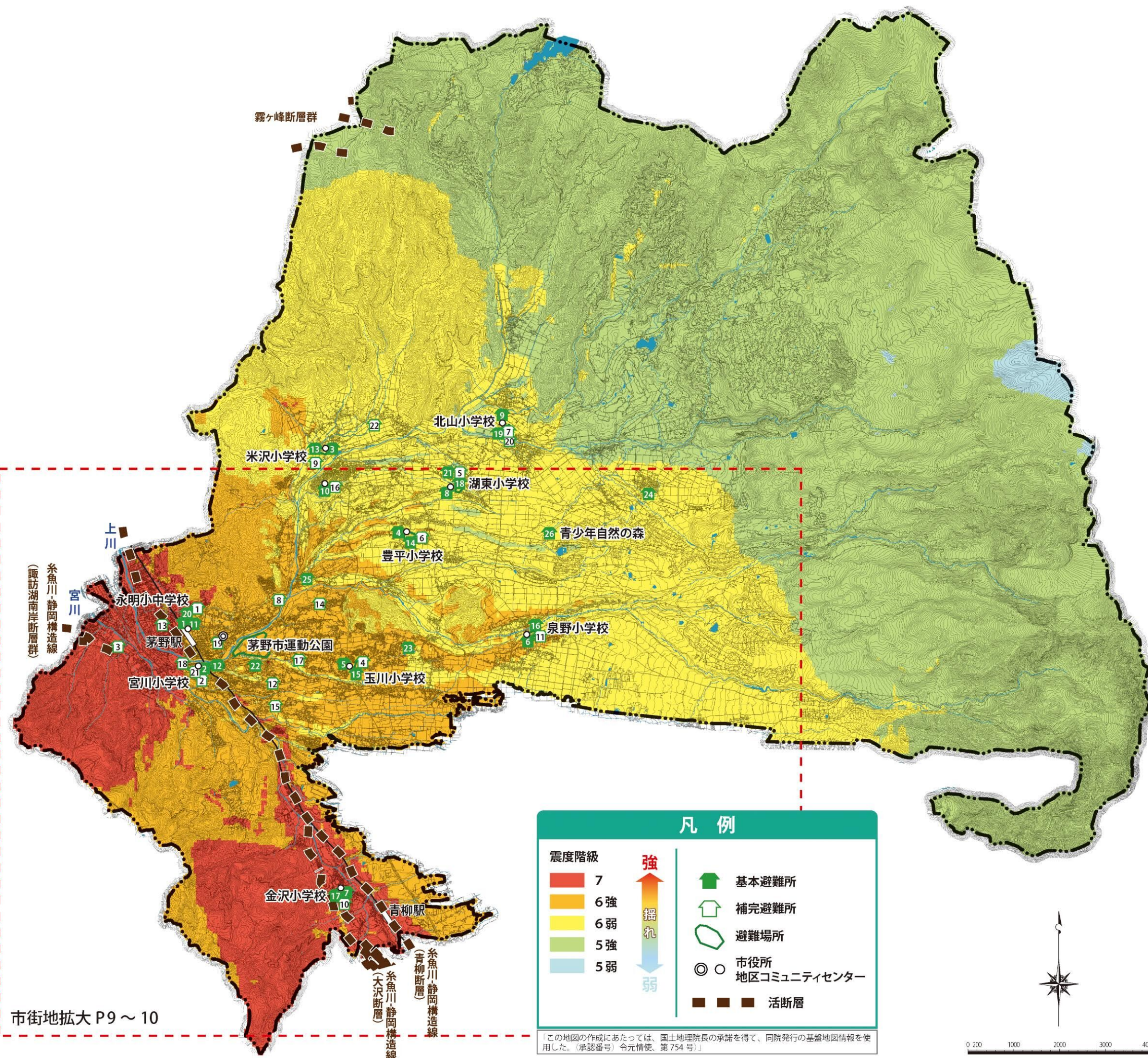
屋内の状況：電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

屋外の状況：まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。

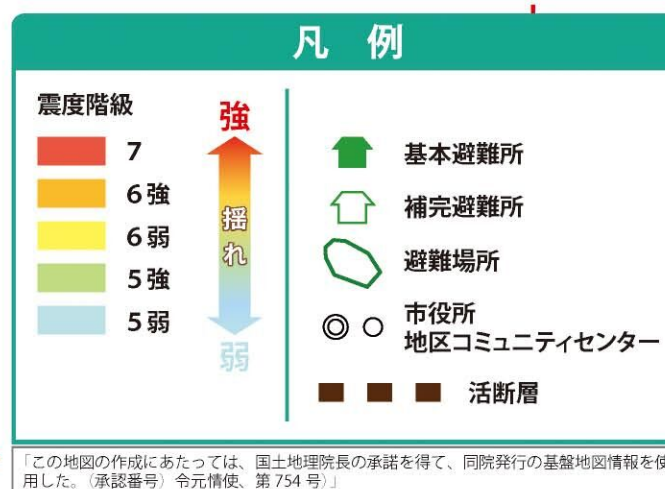
木造建物：耐震性が低い建物では、壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。



気象庁震度階級関連解説表より



市街地拡大 P9 ~ 10



0 200 1000 2000 3000 4000m